

鉄道のまち 米子

撮影地ガイド 2023

1902年(明治35年)11月1日に境～米子～御来屋が開通。
以後米子は鉄道とともに発展してきました。
国鉄時代には山陰唯一の鉄道管理局がおかれるなど山陰を代表する鉄道の要所です。
今回は米子周辺を中心とした山陰の鉄道の魅力が伝わる撮影スポットを紹介します。



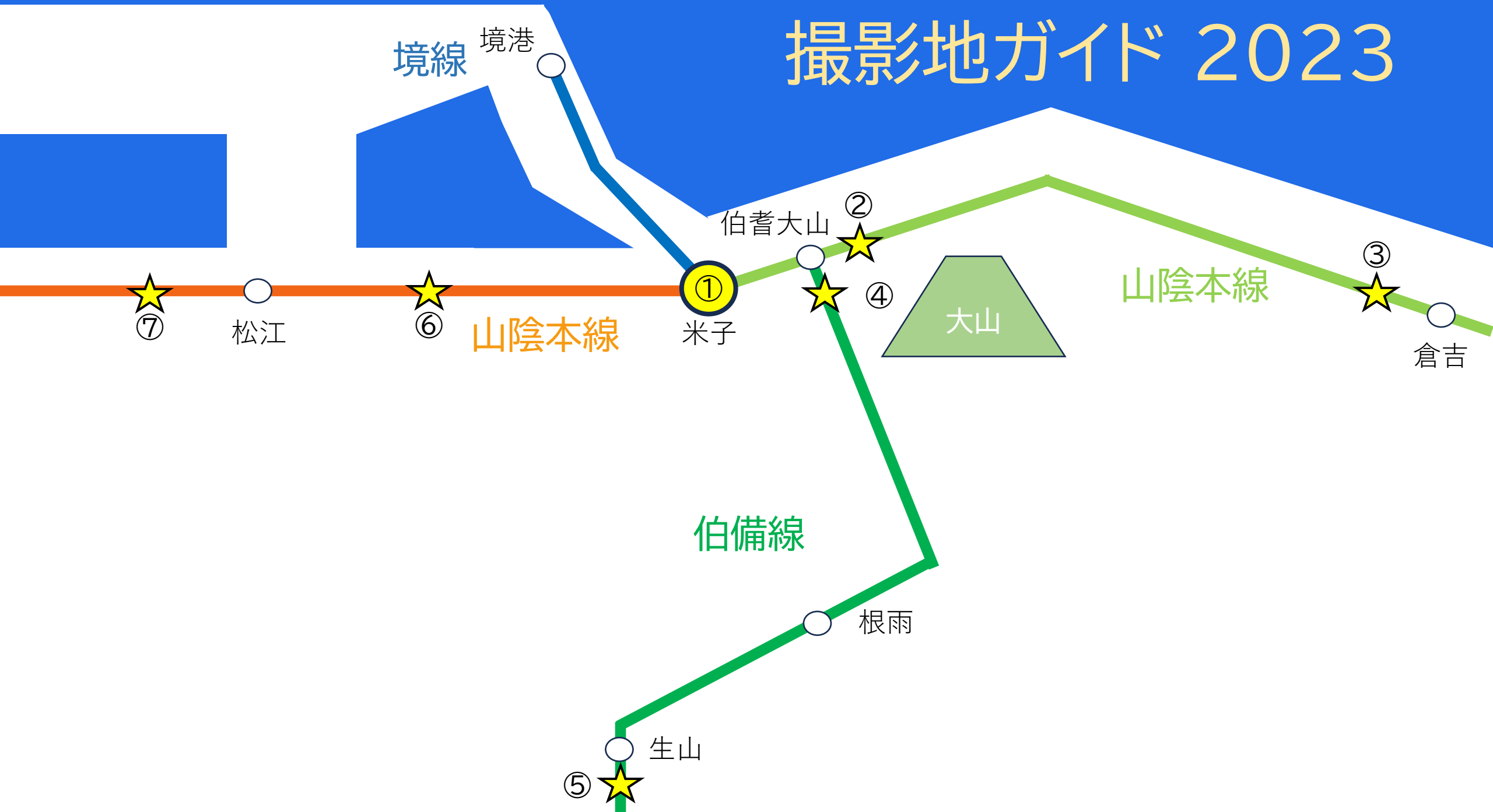
JRの特急往復利用で来場される方へ

山陰観光連盟様のご協力により
かえりの特急券提示でノベルティプレゼントがあります！（なくなり次第終了）

他にも鉄道にまつわる企画を考えております。
ぜひ鉄道好きな方もそうでない方も会場までお越しくください。



撮影地ガイド 2023



①米子駅 がいなロード



2023年7月29日に開通した
米子駅の南北自由通路から撮影。

米子駅構内と奥には扇形機関庫
が見渡せる。



②淀江-伯耆大山



米子近郊の非電化区間で
一番の定番撮影地。

カーブを曲がってくる姿を撮影できる。



③蜘蛛ヶ家山 展望台(下北条-由良)



頂上にある展望台より撮影。
日本海と風車が山陰らしい。

倉吉-下北条間も撮影可能。



④岸本-伯耆大山

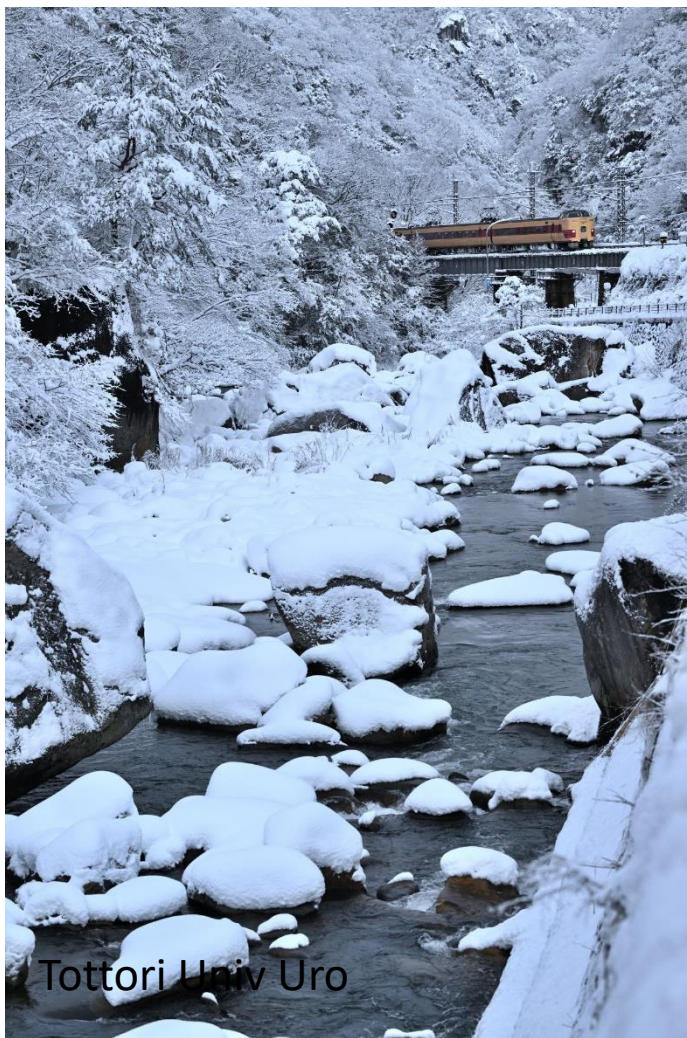


大山をバックに撮影ができる。

立ち位置は様々で菜の花や稲穂などと絡めることもできる。



⑤上石見-生山



生山駅からすぐの石霞溪から。
大小の奇岩と共に撮影できる。



⑥荒島-揖屋



王陵の丘より撮影。
中海をバックに列車を撮影できる。

GW前後にはつつじが満開になる。



⑦玉造温泉-来待



玉造温泉近くの玉湯川から。
桜並木と絡めて撮ることができる。

